

明海大学 不動産学部

不動産の不思議

第119回

学生たちの視点と発見

【学生の目】

都心のテーマパークで遊んでいるときにある疑問が生じた。観覧車やジェットコースターはどのように規制されているのか。本当に安全なのか。今まで建物については勉強してきた。しかし、観覧車やジェットコースターなどの遊戯施設は深く勉強しておらず、規制の体系がわからない。都心のテーマパークの遊戯施設は高く、大きく、収益性がある(写真)。また、遊戯施設が高密化するとともに、次々に新しい遊戯施設が登場している。

遊戯施設の安全性

経営上の工夫によって施設が維持され、ビルに建て替えられずに存続して、私たちが余暇を楽しむことができることを考えると、テーマパークの遊戯施設も建物同様、不動産といえるのではないか。そこで、気になった遊戯施設の安全性について調べた。

一層の集客を目指す遊戯施設の進化の一つの方向が、スリルの増大だ。以前とは比較にならないほどスリル満点の施設が登場する。建設や利用に際して、一つひとつ確認し、検査するわけだが、建物や電車の安全性と比較して心細い印象がある。そして実際に遊戯施設の事故が起きることもある。



テーマパークにある人気の観覧車。その安全性は(都内で)

もう一段の情報開示が必要

も建築物と同様、建築確認申請(6条)、報告・検査等(12条)が必要である。構造上の安全性を確保するため、国土交通大臣が定める構造計算により、安全であると確かめられる必要があるが、その際の安全性は

事故があるとテーマパーク全体の信用が失われる。消費者が安心して利用できるよう、建築基準法12条の報告・検査の結果のほか、遊戯施設の構造や管理を開示する仕組みが望ましい。利用中に地震にあう可能性

があることを考えると、建築物でいう新耐震基準適合かも知りたい情報だ。地震予知の仕組みや新幹線のように地震波感知で自動停止する装置

【教員のコメント】

景観重視のロンドン中心部、国会から周辺のテムズ川に観覧車を作る案は多くの避難を受けた。今では観光名所のロンドンアイだが、引張力を使った軽快で巧みな構造設計が貢献した。無骨な構造体を改めることが次世代テーマパークの課題だ。

景観重視のロンドン中心部、国会から周辺のテムズ川に観覧車を作る案は多くの避難を受けた。今では観光名所のロンドンアイだが、引張力を使った軽快で巧みな構造設計が貢献した。無骨な構造体を改めることが次世代テーマパークの課題だ。

景観重視のロンドン中心部、国会から周辺のテムズ川に観覧車を作る案は多くの避難を受けた。今では観光名所のロンドンアイだが、引張力を使った軽快で巧みな構造設計が貢献した。無骨な構造体を改めることが次世代テーマパークの課題だ。



渡邊 継一郎
不動産学部3年